

経済学研究科をご卒業される皆さんへ

経済学研究科委員長 山田 幸三

ご卒業おめでとうございます。大学院で修士の学位を授与されて修了することは、高い専門性を持つ人材として社会へ旅立つことを意味します。皆さんは、新型コロナウイルス感染症のパンデミックという、これまで人類が経験したことのない厳しい環境の中で新しいスタートを切ることになります。そうした危機的環境の中での旅立ちであるからこそ、上智大学で学んだ経済学、経営学の知識をもとに人々と協力して経済の再生に努め、国境を越えて地球規模で活躍するような人生の行路を歩んでください。より良き社会の構築に貢献できる人材としての活躍と、皆さんの将来が幸多きものでありますよう祈念します。

経済学専攻主任 来島 愛子

ご修了、おめでとうございます。昨今の新型ウイルスの問題で通常の学位記授与式が行えず、直接皆さんにお祝いをお伝えできないことが残念ですが、これまでの皆さんの努力が実を結んだことに本当に嬉しく思っております。修士論文をまとめるにあたっての準備、試行錯誤した経験、発表のための様々な工夫と言葉の力がこれから皆さんの社会に出てからの人生においてきっと役立つくれるものと信じております。このような状況においてこそ皆さんの知識、思考力、行動力が社会に貢献する源となりますように、皆さんのご活躍をお祈り申し上げます。本日は本当におめでとうございます。

経営学専攻主任 竹之内秀行

ご卒業おめでとうございます。

これからの人生に胸を躍らせている人や、少しの不安を抱いている人、さまざまな人がいるかと思えます。選択はとても大切です。なぜなら、どの選択をするかによって、自分の過ごしていく環境も変わってくるからです。環境を選択すれば、日々話す人、一緒に食事をする人、議論する人もある程度決まってきます。実は自分へのインプットへ影響を及ぼし、さらには自らの形成へ大きな影響を及ぼしているのです。

そうした選択と合わせて、当たり前のことですが選択後の過ごし方も大切です。過ごし方によって、結果は大きく変わってきます。また、実は環境は、必ずしも与えられたものではありません。自らが、選択後に環境へ働きかけ環境を変化させていくことも可能です。

大学院での経験をベースとしながら、卒業後も充実した社会人生活を過ごしてください。

2020年3月24日